

《そう合問題5》
もんだい

いろいろなしゅるいの文章問題をといてみよう。問題を
とくときは、本文をよく読み、内ようをしつかり理かいす
ることが大切です。

【例題】

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読
点や記号は一字として数えます。

ミユのクラスでは、遠足の行き先について話し合ってい
ます。ミユは、話し合いの司会をしています。

クラスの一人が、意見を言いました。

「わたしは、山の公園に行きたいです。森の中にフィール
ドアスレチックもあるし、山の中の道をたんけんでき
し、楽しいと思います。」

すると、べつの人が発言しました。

「山の公園も楽しいと思いますが、わたしは海の公園に行
きたいです。すなはまで遊んだり、海に入ったりするの
は楽しいです。それに、海を見ながらおべん当を食べたら、
きつとおいしいと思います。」

その後も意見は出ましたが、他の場所へ行きたいという
意見はありませんでした。

「それでは、どちらの公園へ行くかを、多数決で決めたい

と思います。紙を配りますので、山の公園か海の公園か、
行きたいほうを書いてください。」

とミユは言って、紙を配りました。

みんなは、行きたい所を紙に書き始めました。すぐに決
まった人もいましたが、まよっている人もいました。やが
て全員が書き終わりました。

「では、けつかを黒板に書きます。ケンタさんに手つだっ
てもらいます。」

「海。山。山。海。」

ミユは紙を見て読み上げます。数を記ろくするために、ケ
ンタは、黒板に「正」の字を書いていきます。

〈ケンタの板書〉

海 正正下
山 正正正

「それでは、数をたしかめましょう。山に行きたい人が
十五人、海に行きたい人が十三人でした。今回の遠足の
行き先は、山の公園に決まりました。山の公園で何をす
るかは、次回、話し合いたいと思います。」

ミユが最後にそう言って、その日の話し合いは終わしま
した。

(1) 山の公園に行きたいと発言した人は、何をする**こと**が楽しいと思ったのですか。()にあてはまる言葉^ばを、本文中からぬき出そう。

森の中で(ア)をしたり、(イ)を(ウ)したりすること。

(2) 遠足の行き先は、どのようなやり方で決めましたか。

(3) ケンタは、何をするために黒板に「正」の字を書きましたか。本文中から九字でぬき出そう。

【答え】

(1) ア フィールドアスレチック

イ 山の中の道

ウ たんけん

(2) 多数決

(3) 数を記ろくするため

【かいせつ】

(1) 本文に、「わたしは、山の公園に行きたいです。森の中にフィールドアスレチックもあるし、山の中の道をたんけんできるし、楽しいと思います。」とある。

(2) クラスの人が意見をのべた後、多数決で決めている。

(3) 本文に、「数を記ろくするために、ケンタは、黒板に『正』の字を書いていきます。」とある。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

三年一組と二組の全員に、すきなくだものアンケートをとりました。紙を配って、すきなくだものを書いてもらいました。

今日は、一組と二組が同じ教室に集まって、けっかが出るのを待っています。

先生が、みんなに言いました。

「それでは、今から数えていきます。レイさん、数えるのを手つだってください。」

レイは、先生が読み上げたら、それに合わせて黒板に「正」の字を書いていく係です。

数を調べて記ろくするとき、正の字を書いていくことは、算数で習いました。正の字は五本の直線だけでできていて、ひと目で全体の数が分かるのです。

「じゃあ、一組から読み上げます。バナナ。いちご。みかん。バナナ。……。」

やがて、数え終わりました。

「それでは発表します。一組は、いちご三人、バナナ八人、みかん五人、メロン四人です。二組は、いちご七人、バナナ二人、みかん五人、メロン六人です。」

と、先生は言いました。

「一組ですきな人の人数がいちばん多いくだものは、バナ

ナですね。二組はいちごです。けっかを分かりやすくするために、表にまとめてみましょう。」

先生は、表を黒板に書きました。

すきなくだもの

くだもの	1組 (人)	2組 (人)
いちご	3	7
バナナ	8	2
みかん	5	5
メロン	4	6

「どうですか。表の見方は分かりますね。このようにまとめられます。」

「表にまとめるとけっかが見やすいし、ちがいをくらべやすいな。」と、レイは思いました。

(一) レイは、何の係ですか。() にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

先生が読み上げるのに合わせて、(ア) (イ) を書いていく係。

ア

イ

(2) 数を調べるとき、「正」の字を書くのはなぜですか。

() にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

正の字は、(ア) だけでできていて、(イ) がひと目で分かるから。

①	ア

(3) 表から分かることを、次のようにまとめました。

() にあてはまる言葉を答えなさい。ただし、数字は、漢数字で書くこと。

すきな人の人数が、一組ではいちばん少なく、二組ではいちばん多くいたものは、(ア) である。

バナナがすきな人の人数をくらべると、一組は二組の(イ) 倍である。

①	ア

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

三年一組と二組の全員に、すきなくだものアンケートをとりました。そのけっかをまとめた表を見て、先生が話しています。

すきなくだもの

くだもの	1組 (人)	2組 (人)
いちご	3	7
バナナ	8	2
みかん	5	5
メロン	4	6

「この表を見てください。一組で、二番目にすきな人の数が多いくだものは、何ですか。そう、みかんですね。では、二組では何ですか。」

「はい。メロンです。」

リコさんが答えました。

「そのとおりです。では、一組と二組をくらべたとき、二組のほうが、すきな人の人数が多いくだものは何ですか。一つではありません。」

ケントは考えました。答えはすぐに分かりました。

「分かった人は手をあげてください。」

先生が言ったので、ケントは手をあげました。

「ではケントさん。」

ケントは、ドキドキしながら答えました。

「いちごとメロンです。」

「正かいです。」

先生が、大きい声で言いました。ケントは、ちょっとはすかしい気もしましたが、やった、と思いました。

「では、たしかめましょう。同じくだものについて、一組と二組、それぞれの人数をくらべればいいですね。いちごは一組が三人で二組が七人、メロンは一組が四人で二組が六人です。二組のほうが人数が多いのは、この二つですね。」

先生は、表を使ってせつ明してくれました。

「一組と二組の人数が同じくだものは、みかんだけということも分かりましたね。」

(一) 表から分かることを、次のようにまとめました。

() にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

一組と二組をくらべたとき、二組のほうがすきな人の人数が多いくだものは、(①) と (②) で、人数が同じなのは (③) である。

また、二組のほうが、すきな人の人数が少ないくだものは、(④) であることが分かる。

(2) —線部「正かいです」とありますが、先生にこう言われたとき、ケントは、どんな気持ちになりましたか。次のア～エからえらぼう。

- ア うれしくて、ほっとした気持ち。
- イ はずかしくて、にげ出したい気持ち。
- ウ うれしくて、まんぞくした気持ち。
- エ 少しはずかしいが、やったという気持ち。

④	③	②	①

(3) 二つの組で、いちごがすきな人の人数をくらべるには、どうすればいいですか。() にあてはまる言葉を、本文中から十字でぬき出そう。

表の「いちご」の、() の人数をくらべればいい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

三年一組と二組の全員に、すきなくだものアンケートをとりました。紙を配って、すきなくだものを書いてもらいました。

今日は、一組と二組が同じ教室に集まって、けっかが出るのを待っています。

先生が、みんなに言いました。

「それでは、今から数えていきます。レイさん、数えるのを手つだってください。」

レイは、先生が読み上げたら、それに合わせて黒板に「正」の字を書いていく係です。

数を調べて記ろくするとき、正の字を書いていくことは、算数で習いました。正の字は五本の直線だけでできていて、ひと目で全体の数が分かるのです。

「じゃあ、一組から読み上げます。バナナ。いちご。みかん。バナナ。……。」

やがて、数え終わりました。

「それでは発表します。一組は、いちご八人、バナナ四人、みかん五人、メロン三人です。二組は、いちご四人、バナナ七人、みかん六人、メロン三人です。」

と、先生は言いました。

「一組ですきな人の人数がいちばん多いくだものは、いち

ごですね。二組はバナナです。けっかを分かりやすくするために、表にまとめてみましょう。」

先生は、表を黒板に書きました。

すきなくだもの

くだもの	1組 (人)	2組 (人)
いちご	8	4
バナナ	4	7
みかん	5	6
メロン	3	3

「どうですか。表の見方は分かりますね。このようにまとめられます。」

「表にまとめるとけっかが見やすいし、ちがいをくらべやすいな。」と、レイは思いました。

(一) 三年一組と二組では、何についてのアンケートを行いましたか。

についてのアンケート。

- (2) 表から分かることを、次のようにまとめました。
- () にあてはまる言葉を答えなさい。ただし、
- (3) は漢数字で答えること。

一組と二組の、すきな人の人数が同じくだものは、

(1) である。また、一組と二組の人数の差が一人の

くだものは、(2) で、(3) 組のほうが、一人少

ない。

②	
③	

①	
---	--

- (3) 先生が黒板に書いた表を見て、レイはどう思いましたか。次のア～オから、あてはまるものを二つえらぼう。

- ア 文章の内ようが分かりやすい。
- イ 問題点を見つけやすい。
- ウ ちがいをくらべやすい。
- エ けっかが見やすい。
- オ 何のアンケートか分かりやすい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

三年一組と二組の全員に、すきなくだものアンケートをとりました。そのけつかをまとめた表を見て、先生が話しています。

すきなくだもの

くだもの	1組 (人)	2組 (人)
いちご	4	4
バナナ	3	5
みかん	7	3
メロン	6	8

「この表を見てください。一組で、二番目にすきな人の人数が多いくだものは、何ですか。そう、メロンですね。では、二組では何ですか。」

「はい。バナナです。」

リコさんが答えました。

「そのとおりです。では、一組と二組をくらべたとき、二組のほうが、すきな人の人数が多いくだものは何ですか。一つではありません。」

ケントは考えました。答えはすぐに分かりました。

「分かった人は手をあげてください。」

先生が言ったので、ケントは手をあげました。

「ではケントさん。」

ケントは、ドキドキしながら答えました。

「バナナとメロンです。」

「正かいです。」

先生が、大きい声で言いました。ケントは、ちよつとばかりしい気もしましたが、やった、と思いました。

「では、たしかめましょう。同じくだものについて、一組と二組、それぞれの人数をくらべればいいですね。バナナは一組が三人で二組が五人、メロンは一組が六人で二組が八人です。二組のほうが人数が多いのは、この二つですね。」

先生は、表を使ってせつ明してくれました。

「一組と二組の人数が同じくだものは、だけということも分かりましたね。」

(一) 一組で、二番目にすきな人の人数が多いくだものは、
何ですか。



(2) 二組で、二番目にすきな人の人数が多いくだものは、何ですか。

(3) 一組と二組をくらべたとき、二組のほうが、すきな人の人数が多いくだものは何ですか。次のア～エから全てえらぼう。

ア いちご イ バナナ
ウ みかん エ メロン

(4) 先生のしつもんに答えるとき、ケントは、どんな気持ちでしたか。次のア～ウからえらぼう。

ア ウキウキした気持ち。
イ イライラした気持ち。
ウ ドキドキした気持ち。

(5) にあてはまる言葉を、表からぬき出そう。

(6) 二つの組で、いちごがすきな人の人数をくらべるには、どうすればいいですか。() にあてはまる言葉を、本文中から十字でぬき出そう。

表の「いちご」の、() の人数をくらべればいい。



次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

次の表は、三年一組と二組で、好きなスポーツを調べたものです。

〈表1〉

好きなスポーツ

スポーツ	1組 (人)	2組 (人)
野球	7	11
サッカー	10	6
バスケットボール	4	7
テニス	6	3

〈表1〉から、一組と二組のそれぞれの様子が分かります。たとえば、好きな人がいちばん多いスポーツは、一組ではサッカーで、二組では野球です。

また、一組と二組をくらべることもできます。たとえばテニスが好きな人の人数は、一組では六人、二組では三人なので、一組のほうが好きな人が多く、人数が二倍になっていることが分かります。

今度は、一組と二組の人数を合わせると、どうなるかを考えてみます。合計の人数も書くと、〈表2〉のようになります。

ます。

〈表2〉

好きなスポーツ

スポーツ	1組 (人)	2組 (人)	合計 (人)
野球	7	11	18
サッカー	10	6	16
バスケットボール	4	7	11
テニス	6	3	9
合計 (人)	27	27	54

〈表2〉から、次のことが分かります。

- ・一組の人数も、二組の人数も、二十七人である。
- ・調べた人数は、一組と二組を合わせて、五十四人である。
- ・一組と二組を合わせて、好きな人の人数がいちばん多いスポーツは、野球である。
- ・一組と二組を合わせて、野球が好きな人の人数は、テニスが好きな人の人数の二倍である。

他にも、いろいろ考えてみましょう。



(1) 〈表1〉について、次の問いに答えなさい。

A 一組と二組で、すきな人の人数がいちばん多いスポーツは、それぞれ何ですか。

二組	一組

B 一組のすきなスポーツの人数が、二組の二倍になっているものは、何ですか。

--

(2) 一組と二組の人数を合わせると、どうなるかを考えるとき、表に書きくわえたものは何ですか。本文中から五字でぬき出そう。

(3) 〈表2〉について、次の()にあてはまる言葉を答えなさい。ただし、数字は漢数字^{かん}で書くこと。

一組と二組を合わせて、野球がすきな人の人数は、(ア)人で、(イ)がすきな人の人数の二倍である。

①	ア



次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

次の表は、三年二組と四組で、好きなスポーツを調べたものです。

〈表1〉

好きなスポーツ

スポーツ	2組 (人)	4組 (人)
野球	7	5
サッカー	9	7
バスケットボール	4	9
テニス	6	5

〈表1〉から、二組と四組のそれぞれの様子が分かります。たとえば、好きな人がいちばん多いスポーツは、二組ではサッカーで、四組ではバスケットボールです。

また、二組と四組をくらべることもできます。たとえば野球が好きな人の人数は、二組では七人、四組では五人なので、二組のほうが好きな人が多いことが分かります。

今度は、二組と四組の人数を合わせると、どうなるかを考えてみます。合計の人数も書くと、〈表2〉のようになります。

〈表2〉

好きなスポーツ

スポーツ	2組 (人)	4組 (人)	合計 (人)
野球	7	5	12
サッカー	9	7	16
バスケットボール	4	9	13
テニス	6	5	11
合計 (人)	26	※	52

〈表2〉から、次のことが分かります。

- ・ 二組の人数は、二十六人である。
- ・ 調べた人数は、二組と四組を合わせて、五十二人である。
- ・ 二組と四組を合わせて、好きな人の人数がいちばん多いスポーツは、サッカーである。

他にも、いろいろ考えてみましょう。



(1) 〈表1〉について、次の問いに答えなさい。

A 三年二組と四組で、何について調べましたか。

--

B 二組と四組で、すきな人の人数がいちばん多いスポーツは、それぞれ何ですか。

二組	四組

(2) 二組と四組の人数を合わせると、どうなるかを考えるとき、表に書きくわえたものは何ですか。本文中から五字でぬき出そう。

(3) 〈表2〉について、次の問いに答えなさい。

A 二組と四組を合わせて、すきな人の人数がいちばん多いスポーツは何ですか。

--

B ※に入る人数は、何人ですか。漢数字で答えよう。

人
